

2号機原子炉格納容器内部調査
ペDESTAL内側 プラットホーム上調査(A2調査)

X-6遮へいブロック撤去の実施状況について

2015年10月1日

東京電力株式会社



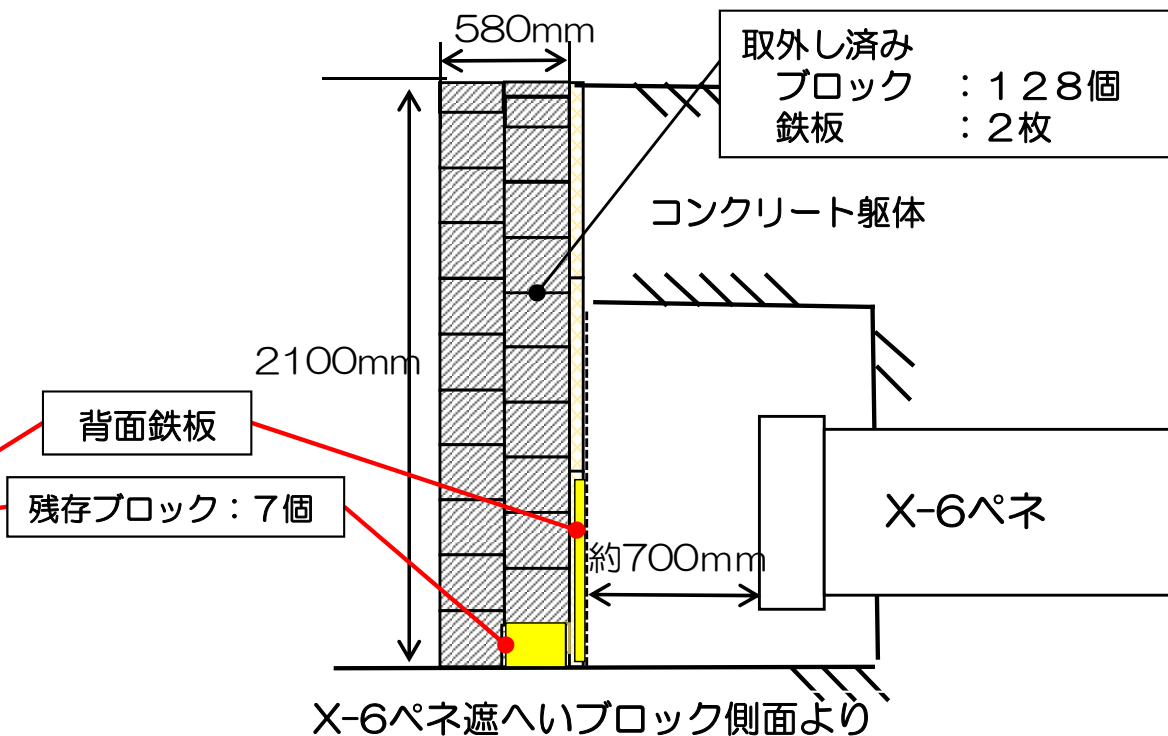
東京電力

1. X-6ペネ前遮へいブロック撤去状況（再開前）

- 本年8月に実施予定であった2号機PCV内部調査（ペデスタル内調査）に向け、X-6ペネ（格納容器内外の貫通口）前のブロック撤去を6月11日より開始。
- 6月26日、135個中128個のブロックが撤去できた時点で、ブロック後列の最下段の1列（計7個）が撤去できない事象が発生。その後、ブロック撤去装置で実施可能な手段を講じたが撤去できなかったことから、7月8日に作業を一時中断。
- 早期のブロック撤去に向け、小型重機を使用したブロック撤去作業を9月28日より実施。



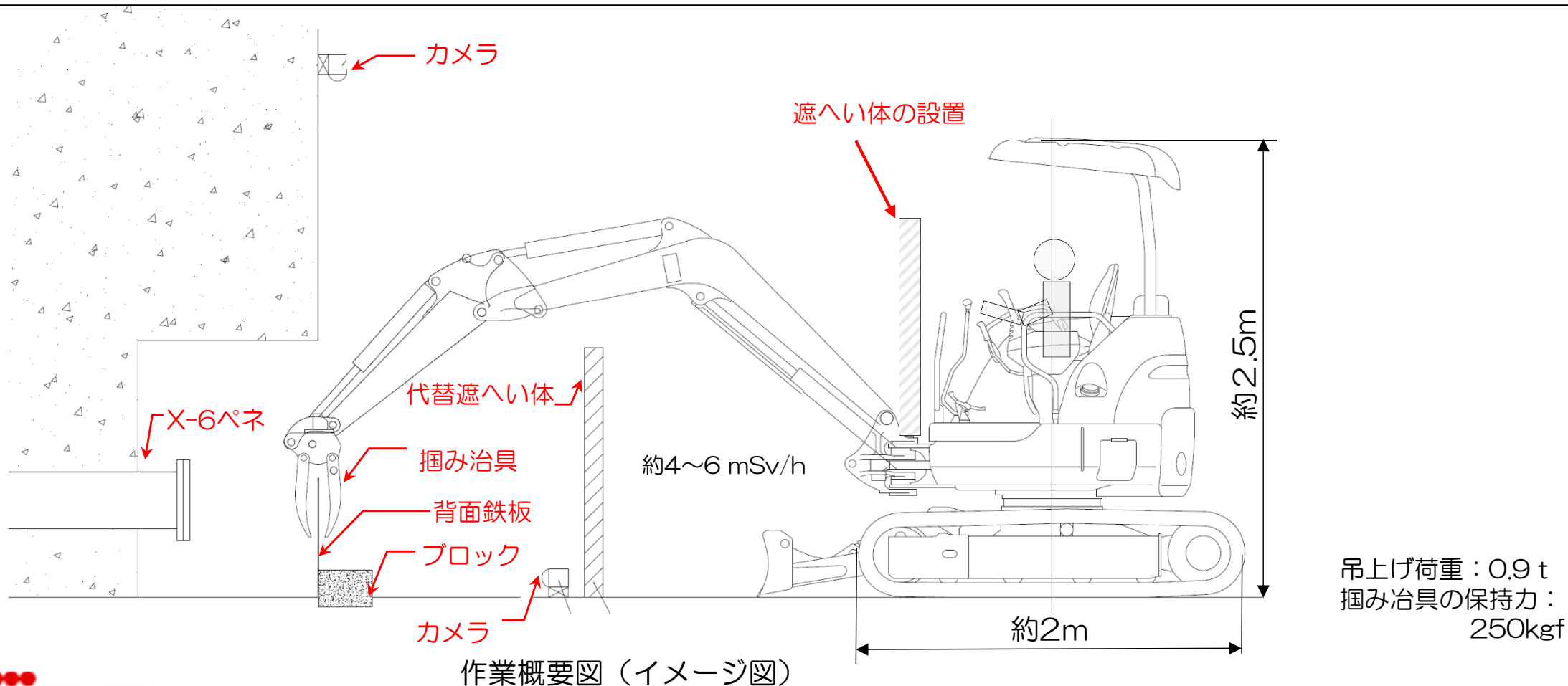
上面からの写真



2. 小型重機活用による遮へいブロック撤去

■ ブロック撤去方法

- (1) 掴み治具を用いて背面鉄板をゆすり、取り外す(ブロックを掴むためのスペースを確保するため)。
※ブロック隙間等に錆除去剤を塗付し、ブロックと背面鉄板の固着の緩和を行う。(錆除去剤は非危険物)
- (2) 背面鉄板取外し後、ブロックをゆすり、取り外す。
- (3) (1,2)により撤去できない場合、以下の工法も適用し、ブロック固着の緩和を行う。
 - 小型重機の治具を交換し、ブロック加振や破碎を行う。
 - 小型重機以外の固着緩和工法として、加振機によるブロックの固着緩和を行う。

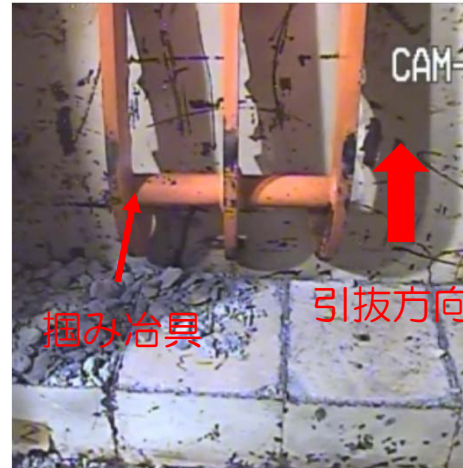


3. 遮へいブロック撤去状況（1）

■9月28日

掴み冶具により背面鉄板をゆすり、取り外しを行う。

⇒掴み冶具の滑りにより取外不可



背面鉄板引抜状況



X-6ペネ前現場状況

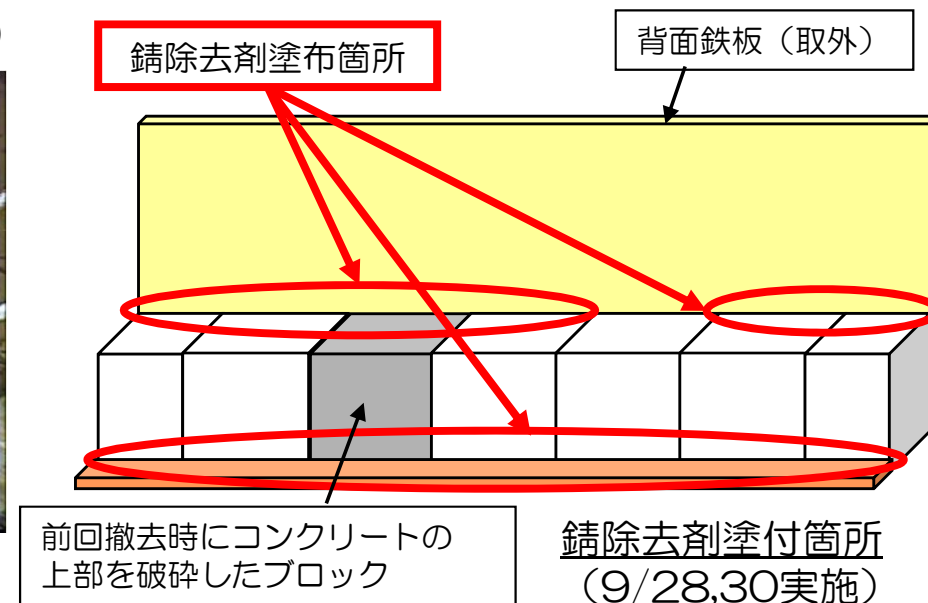
■9月29日

掴み冶具にゴム状の滑り止めを取り付けて、背面鉄板の取外しを行う。

⇒掴み冶具の滑りにより取外不可



背面鉄板引抜状況

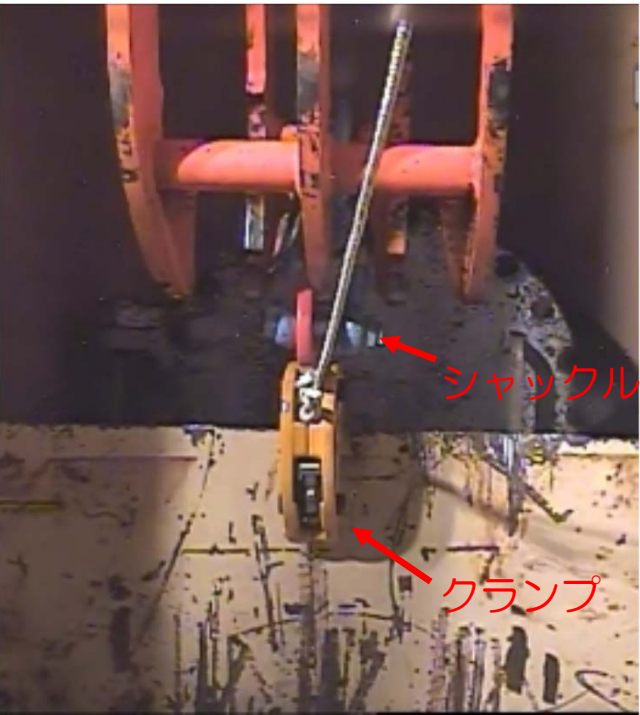


4. 遮へいブロック撤去状況（2）

■9月30日

掴み冶具にクランプを取り付けて、背面鉄板の取外しを行う⇒取外成功

※：背面鉄板引抜時にブロックが全体的に浮き上がるのを確認



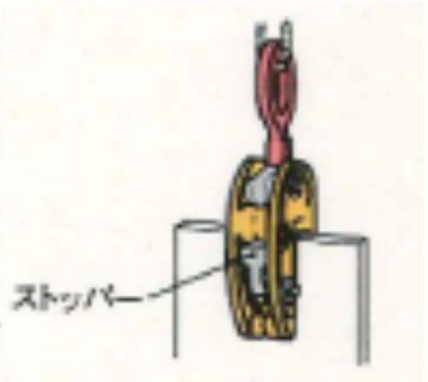
背面鉄板引抜状況



クランプ外観



背面鉄板撤去後



クランプ取付イメージ

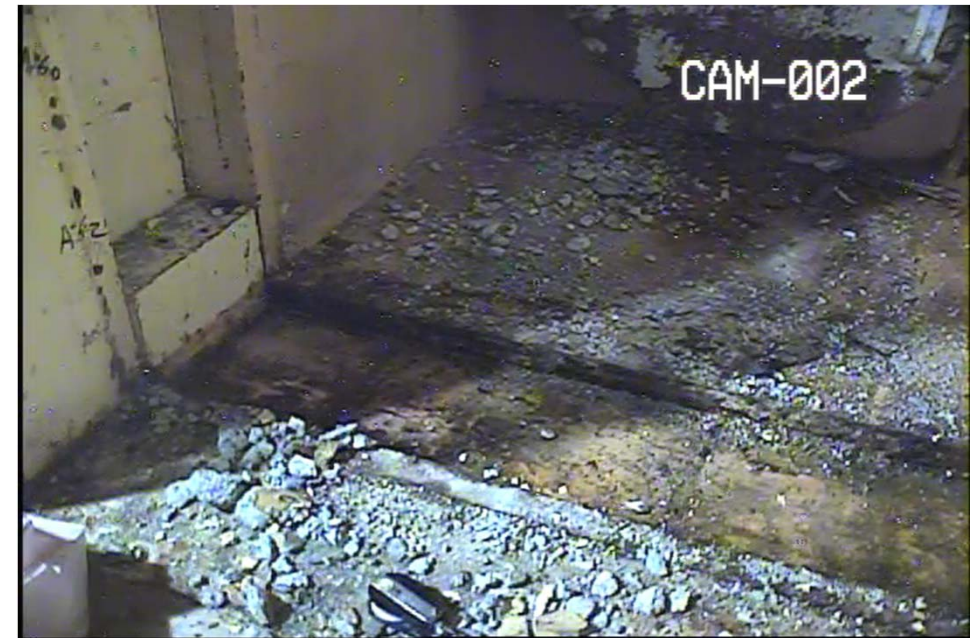
4. 遮へいブロック撤去状況（3）

■10月1日

掘み冶具によりブロックの撤去を行う⇒取外成功



ブロック撤去前の状況












ブロック撤去後の状況

※ブロック列の左右両端のブロックについては、今後の線量低減作業及び内部調査に対して影響がないことから撤去は行わない。

5. 今後の工程について

- 9/28～10/1の撤去作業で背面鉄板及び遮へいブロックの取り外しが完了したことから、今後は線量低減作業に向けて準備を進める。

		2015年				2016年		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小型重機による ブロック撤去	成立性評価							
	作業準備/モックアップ							
	ブロック撤去		 9/28～10/1					
	片付け							
X-6ペネ周辺の調査 (ダスト・線量測定、3Dスキャン他)			9/4～9/25					
X-6ペネ周辺の 線量低減	検討・モックアップ							
	線量低減						調整中	
PCV内部調査						内部調査の時期は、除染の状況を踏まえ策定する。		